

美郷村の植生

植生班 (徳島生物学会)

井内 久利^{*1} 森本 康滋^{*2} 飯山 直樹^{*3} 松永 英明^{*4} 友成 孟宏^{*5} 西浦 宏明^{*6}

1. はじめに

美郷村大神の郵便局の上の斜面に見事な自然林が見られる。西南日本の照葉樹林の極相を構成する代表的な種であるコジイ林である。この森林は、道路沿いにあるので、道路から簡単に森林の断面が観察できる。20m近い高木層を構成するのは、コジイで、その樹冠の下に、8m～4mの亜高木・低木層があり、サカキ・アラカシ・ヤブツバキ・カナメモチ・ヒサカキなどが見られる。また、林床の草本層には、センリョウ・コジイ・ヒトツバ・ベニシダ・イタビカズラなどが生育している。このような階層構造が見られるのは、自然林の特徴で太陽光のエネルギーを有効に利用している。また、生態系を支える生産者である緑色植物がこのようにすみわけして、多様性をもつということは、多種類の植食性動物や肉食性動物が複雑な食物網を形成すると考えられる。このような複雑な食物網を持った自然林は、ある生物のみが大発生をしたり、絶滅をするというような、極端な変動が起きにくい安定した生態系であるといえる。

反面、スギやヒノキの植林は、他の植物を下刈りする。したがって、階層構造は見られず、生産者・消費者の種類の少ない、不安定な生態系である。今回の美郷村の調査でも、村内の半分以上はスギ・ヒノキの植林に覆われていることが判明した。しかし、貴重な自然林も数多く残されている。この調査結果が、美郷村の自然を守る基礎資料となり、この貴重な自然がいつまでも残ることを希望する。

この調査に際し、ご協力をいただいた美郷村の関係の方々から心からお礼申し上げます。

2. 調査地の概要

1) 位置

美郷村は徳島県のほぼ中部、麻植郡南部に位置する。北は山川町・川島町、北東は鳴島町、東南は名西郡神山町、南は美馬郡木屋平村、西は同穴吹町に接している。

2) 気象条件

美郷村に公式の資料がないが、美郷町のメッシュ気候値(徳島の気象100年 徳島地方気象台・日本気象協会、1991)によると、平均気温は13.8℃、年間降水量は1637mmである。徳島県の中では、気温は低く、降水量は少ない地域である。

日本の森林帯の水平・垂直分布と気温の関係を示す指数として、「暖かさの指数」(吉良、1948)がある。これは月平均気温から5℃以上の月を選び、それぞれの値から5を引いた数値の総和で表される。美郷村の気象資料から「暖かさの指数」を計算すると、役場付近で109.1°となる。

海拔による、気温の低減率を100mにつき0.6℃として「暖かさの指数」を計算すると、標高680mで85°になることから、美郷村の標高680m以下では照葉樹林が、以上の地域は夏緑広葉樹林が発達すると考えられる。

3) 地形

美郷村は、四方が四国山地の稜線で囲まれ、北は

*1 徳島県立脇町高等学校 *2 徳島市北佐古1-1-28 *3 (株)エコー建設コンサルタント *4 徳島県立川島高等学校
*5 上板町瀬部1147-1 *6 徳島県教育委員会

海拔400～500m、南は800～900mの山稜線で界されている典型的な山村で、全体的に南が高く北に低い地形で、平坦地はほとんどない。村内を吉野川の支流川田川及び東山谷川が貫流しており、両川が役場のある川俣で合流した後、西流しやがて北へ向かい、吉野川中流に合流している。町内の最高海拔は、町内西部に聳える奥野々山の1159mである。

4) 地質

美郷村の地質は、三波川帯の結晶片岩からなる。これは、砂・泥・珪質堆積物などが変成作用を受けたものである。

5) 土地利用

美郷村産業課（2000）による、村内の土地利用状況を表1に示した。山林面積、特に人工林の占める割合が高い。

表1 土地利用状況 単位:ha

耕地面積	水田	26
	畑	90
	樹園地	110
	小計	226
林野面積	人工林	2598
	天然林	1477
	その他	80
	小計	4155
他	宅地等	666
合計		5047

3. 調査期間と調査方法

現地調査は平成15年（2003）7月24～30日の7日間実施した。

あらかじめ空中写真（平成11年度森林整備空中写真標定図 2287～2477）により、1／25000地形図

上に群落区分をし、現地で修正・確認をした。調査地点では、森林群落、草本群落ともに、各群落を代表すると考えられる植分についてBraun-Blanquet（1964）の方法により、高木層・亜高木層・低木層・草本層に出現するすべての維管束植物について種別に被度・群度を測定し記録した。また調査地点の海拔・斜面の方位・傾斜角度・高木層の胸高直径なども記録した。調査面積は、原則として草本群落では2×2㎡、低木群落では5×5㎡、高木群落では20×20㎡の方形区を基本としたが、地形の変化や群落の広がりを配慮して面積や形は変化させた。

植生調査は全体で48カ所（図1）で行い、これらを表操作することにより各群落の識別種群を引き出し、総合常在度表（表2）、各群落組成表（表3～表15）及び美郷村現存植生図（付図）を作成した。

4. 調査結果と考察

1) ツルヨシ群落

群落識別種 ツルヨシ、スギナ、アレチギシギシ、ツユクサ、カナムグラ、ミゾソバ

平均出現種数 9.6種

この群落は東山谷川及び川田川の両岸に連続的に

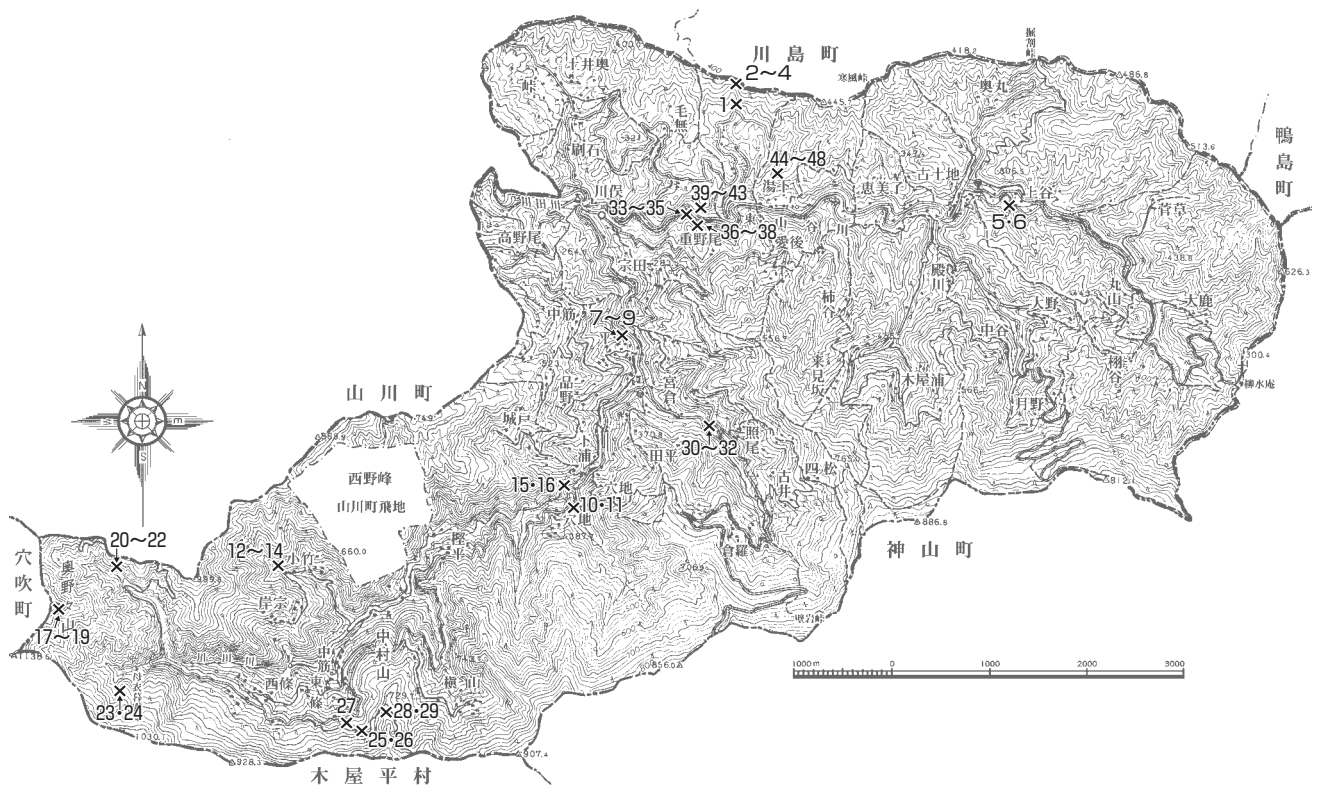


図1 調査地点と調査地番号

表2 総合常在度表

	1. ツルヨシ群落	2. キシツツジ群落	3. プナ群落	4. イヌシデ群落	5. ケヤキ群落	6. コジイ群落	7. アラクシ群落	8. コナラ群落	9. クスギ群落	10. アカマツ群落	11. 伐採跡群落	12. 竹林	13. スギ・ヒノキ植林	出現回数
群落番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
調査区数	5	3	3	3	2	5	5	3	3	3	5	3	5	
平均出現種数	9.6	8.7	33.7	32.7	32.0	34.0	19.6	37.0	62.0	24.3	8.0	26.0	44.8	
群落識別種														
ツルヨシ	V5	5
スギナ	V+1	5
アレチギシギシ	III+1	3
ツエクサ	III+	3
カナムグラ	II+1	2
ミゾソバ	II+	2
キシツツジ	.	34-5	3
ウスノキ	.	21-2	2
ヒメヒオオギズイセン	.	21	2
ヒメワラビ	.	2+	2
ブナ	.	.	33-4	3
スズクケ	.	.	33	3
タムシバ	.	.	3+1	3
ドウダンツツジ	.	.	3+1	3
ナツツバキ	.	.	3+1	3
ツタウルシ	.	.	2+	2
ハリギリ	.	.	2+	2
ミヤマシキミ	.	.	2+1	2
コハウチワカエデ	.	.	31-3	2+1	2+1	7
シコクトリアシショウマ	.	.	.	3+	3
ヤマハンノキ	.	.	.	22	2
クマシデ	.	.	.	22	2
イヌシデ	.	.	31	33-4	6
ヒメホウチャクソウ	.	.	2+	3+1	5
ヤマアジサイ	2+1	2
ミツバウツギ	.	.	.	1+	2+1	3
ケヤキ	.	.	.	11	24-5	.	I2	21	6
イロハモミジ	.	.	.	1+	2+2	.	.	.	1+	4
コジイ	V5	I1	6
サカキ	V2-3	5
センリョウ	V+2	5
カナメモチ	V+2	II+1	7
タカノツメ	IV+1	4
マンリョウ	IV+	1+	.	5
シキミ	IV+2	III+1	7
ヒトツバ	III+1	3
リンボク	III+1	3
ジュズネノキ	III+	3
モチノキ	II1-2	2
クロバイ	II1	2
シラカシ	I+	III1	I2	5
カヤ	IV+1	IV+1	11	5
チャノキ	II+	III+	3+	.	8
ナキリスゲ	1+	.	.	.	1+	I+	3
アオツラフジ	1+	.	.	.	1+	I+	3
シロヨメナ	1+	II+1	3
ナガバジャノヒゲ	1+	II+	3
クスギ	33-4	3
ナラガシワ	3+1	3
カニクサ	3+	3
スイカズラ	3+	3
シラヤマギク	1+	31-2	4
カンザシギボウシ	2+1	2
ノグルミ	2+1	2
ナツフジ	2+1	2
アカマツ	34	.	.	.	3
ネズミモチ	31-2	3
コシダ	II+2	.	.	31-2	5
ナツハゼ	I+	.	.	31-3	.	.	.	I+	5
クズ	1+	.	.	IV+3	.	I+	6
ウシハコベ	III1-3	.	.	3
ヒメクク	II1-2	.	.	2
オオアレチノギク	I2	.	I+	2
カラムシ	III+1	V2-4	.	I+	9
モウソウチク	35	.	3
ヤマイタチシダ	3+	.	3
キツタ	I+	3+	.	4
ハカタシダ	2+	.	2
フモトシダ	2+	.	2
ミツバテンナンショウ	2+	I+	3
イタビカズラ	I+	2+	.	3
シュロ	I+	II+	1+	.	.	.	2+	.	6
スギ	I1	I+	.	2+1	.	.	.	III5	7
イラクサ	III1-2	3
コバンノキ	III+1	3
オオカモメヅル	III+	3
サルナシ	III+	3
フタリスズカ	.	.	.	1+	II+	3

みられる。ツルヨシがよく生育して高さ2～2.5mに達し、植被率も90～100%である。ツルヨシに混ざって、ミツバ、スギナ、アレチギシギシ、カラムシなどが出現する（図2）。



図2 ツルヨシ群落

2) キシツツジ群落

群落識別種 キシツツジ、ウスノキ、ヒメヒオオギズイセン、ヒメワラビ

平均出現種数 8.7種

キシツツジ群落は、溪谷の両側に帯状に見られる。美郷村では東山谷川・川田川の湫流沿で、ツルヨシ群落の岸側にみられた。

河川の上流部では川幅も狭く、平常時と洪水時の水位差は大きい。洪水時に冠水する場所には、高木は生育できず、キシツツジ、ウスノキ、ネコヤナギなどの低木と草本からなる特有の群落が発達する（図3）。



図3 キシツツジ群落

3) ブナ群落

群落識別種 ブナ、スズタケ、タムシバ、ドウダンツツジ、ナツツバキ、ツタウルシ、ハリギリ、ミヤマシキミ、コハウチワカエデ

平均出現種数 33.7種

ブナは夏緑樹林を代表する極相の構成種で、西南日本では海拔1000m以上の山地帯で見られる。

美郷村では、村の最高海拔（1159m）の奥野々山の頂上部に見られる。樹高20～23m、胸高直径40～80cmのブナの巨木に混じって、コハウチワカエデ、イヌシデ、ナツツバキなどが高木層を構成し、林床にはシロモジ、シラキ、スズタケなどがみられた（図4）。

我が国でも、世界遺産に指定された秋田県の白神山地がブナ群落としては有名であるが、西日本には山地に分断されてわずかに残存するにすぎない。徳島県内の数少ない自然植生のひとつとして保護すべきものである。



図4 ブナ群落

4) イヌシデ群落

群落識別種 シコクトリアシショウマ、ヤマハンノキ、クマシデ、イヌシデ、ヒメホウチャクソウ

平均出現種数 32.7種

この群落は、奥野々山の北東の尾根の上部に帯状に見られる。県内では、ブナ群落の下部、海拔



図5 イヌシデ群落

900m前後にシデ類の群落が見られる。

高木層は、イヌシデの他、クリ、ヤマハンノキなどで、樹高は17mに達する。低木層には、シロモジ、シラキなどが、草本層にはコガクウツギ、ヒメホウチャクソウなどがみられる(図5)。

5) ケヤキ群落

群落識別種 ヤマアジサイ、ミツバウツギ、ケヤキ、イロハモミジ

平均出現種数 32.0種

川田川の源流部のぼろぼろの滝の南側の斜面に見られる。

高木層を構成するのは、樹高20~25m、胸高直径40cm前後のケヤキの巨木で、樹高15m前後のミズキ、イロハモミジ、ウリノキ、カツラなどが亜高木層を構成している。下層には、ガクウツギ、ウリノキ、ケクロモジ、ジュウモンジシダ、ツヤナシイノデなどのシダ類が混生し、出現種数が多い(図6)。

このケヤキ林は、1978年に徳島県の特定植物群落に選定されている。



図6 ケヤキ群落

6) コジイ群落

群落識別種 コジイ、サカキ、センリョウ、カナメモチ、タカノツメ、マンリョウ、シキミ、ヒトツバ、リンボク、ジュズネノキ、モチノキ、クロバイ

平均出現種数 34.0種

コジイは照葉樹林の極相を構成する種である。美郷村では、上谷の広旗八幡神社と平の平八幡神社に見られた。高木層に、樹高18m、胸高直径50cm以上のコジイが植被率80~90%で繁った林内は昼間でも薄暗く、亜高木層、低木層にコジイ、ヤブツバキ、サカキ、カナメモチ、ツクバネガシ、アラカシなど

みられ、草本層にはセンリョウ、マンリョウ、テйкаカズラなどが生育しており、階層構造がはっきりと見られた(図7)。



図7 コジイ群落

7) アラカシ群落

群落識別種 シラカシ、カヤ、チャノキ

平均出現種数 19.6種

美郷村の低海拔地域は照葉樹林帯に属し、本来あるべき森林(潜在自然植生)は、シイ林・カシ林である。しかし、伐採など人間の影響によって、二次林であるアカマツ林やコナラ林などの代償植生に置き換わっている。

川田川兩岸の急傾斜地の比較的広い面積がアラカシ林に覆われている。しかし、根元近くから2~3本に分かれており、かつて薪炭林として利用されていたと考えられる(図8)。



図8 アラカシ群落

8) コナラ群落

群落識別種 ナキリスゲ、アオツツラフジ、シロヨメナ、ナガバジャノヒゲ

平均出現種数 37.0種

コナラは陽樹で、林床が明るい時の成長が速いが、幼木は耐陰性が低いため、遷移が進み林床が暗くなると陰樹であるシイやアラカシに変わる。

美郷村では、北部の斜面中部から下部にみられた。高木層には、コナラに混ざってネムノキ、ヤマザクラ、アカメガシワなどが見られる。また、低木層にはヒサカキ、ヤブムラサキ、モチツツジ、草本層には、テイカカズラ、ミツバアケビ、ヤマノイモ、サルトリイバラなどのツル植物が繁茂しており、出現種数も多い(図9)。

この群落は、斜面上部のアカマツ林とともに、人里近くの二次林とよばれ、かつては薪炭林として人手が入ることによって維持されてきた森林である。近年は、生活様式の変化により、放置されることが多く、将来はアラカシ林などに遷移すると思われる。



図9 コナラ群落

9) クヌギ群落

群落識別種 クヌギ、ナラガシワ、カニクサ、スイカズラ、シラヤマギク、カンザシギボウシ、ノグルミ、ナツフジ

平均出現種数 62.0種

東山谷川沿い宗田に1カ所見られた。クヌギは、シイタケのほだ木などとして植林される。この林も

植林されたものと考えられる。

調査地は、河川の扇状地のように小さな礫や土砂が積もった立地である。高木層のクヌギ、コナラの植被率が80%と高いにもかかわらず、低木層のイヌツゲ、メダケ、ヤマウルシ、ヤマガキなどが繁茂している(図10)。



図10 クヌギ群落

10) アカマツ群落

群落識別種 アカマツ、ネズミモチ、コシダ、ナツハゼ

平均出現種数 24.3種

山地の斜面上部や尾根の、日当たりがよく、やや乾燥している立地に見られる二次林である。総合常在度表では示されていないが、種組成はコナラ林やクヌギ林と共通した種が多い。低木層のナツハゼや草本層のコシダで区別される(図11)。



図11 アカマツ群落

11) 伐採跡群落

群落識別種 クズ、ウシハコベ、ヒメクグ、オオアレチノギク、カラムシ

平均出現種数 8.0種

森林を伐採すると、よく肥えた土壌と、土壌中に埋まった種子や株などが存在するため、火山の溶岩から始まる遷移よりも、短時間で遷移が進む。このような遷移を二次遷移と呼ぶ。

二次遷移では、キク科やイネ科の種子が風散布によりそこに侵入し、一時的に優占種となる。たとえばオオアレチノギク、ダンドボロギク、ベニバナボロギクなどが優占して繁茂するが、時間がたつと次第に姿を消し、切り株からの芽生えと多年生植物が優占するようになる。調査地はやや遷移の進んだ伐採跡群落である(図12)。



図12 伐採跡群落

12) 竹林

群落識別種 モウソウチク、ヤマイタチシダ、キヅタ、ハカタシダ、フモトシダ、ミツバテンナンショウ、イタビカズラ、シュロ

平均出現種数 26.0種

モウソウチクは、かつて人家近くに食用あるいは生活材用のために植えたものである。しかし、近年は、竹林が放置され、植林や自然林のなかに侵入し、樹木を枯らす場所もみられた。人家近くに点々と見られる。

13) スギ・ヒノキ植林

群落識別種 スギ、イラクサ、コバンノキ、オオカモメズル、サルナシ、フタリシズカ

平均出現種数 44.8種

前述の美郷村の土地利用状況によると、村面積の約50%がスギ・ヒノキ植林で、村の南半分はほとんど植林が占めている。調査地点は、海拔700m前後

のため、低木層にウリノキ、シロモジ、ケクロモジなどが見られた(図13)。



図13 スギ・ヒノキ植林

5. おわりに

美郷村の植生調査を終えて、美郷村の約50%はスギ・ヒノキの人工林であることが判った。

自然度の高い群落としては、ツルヨシ群落、キシツツジ群落、ブナ群落、イヌシデ群落、ケヤキ群落、コジイ群落、アラカシ群落である。とくに奥野々山のブナ群落、ぼろぼろの滝のケヤキ群落、上谷の広旗八幡神社と平の平八幡神社のコジイ群落は特に貴重な森林と考えられる。地元の宝と認識して、保護すると同時に、環境教育などの教育の場所として、活用して欲しい。今回の調査において得られた資料が、美郷村の発展に寄与できれば幸いである。

文 献

- 1 「角川日本地名大辞典」編集委員会(1986):『角川日本地名大辞典 36 徳島県』, 864~865頁.
- 2 吉良龍夫(1948):『温量指数による垂直的気象帯のわかちかたについて』, 『寒地農学2』, 143~173頁.
- 3 徳島県版レッドデータブック掲載種選定作業委員会(2003):『徳島県の絶滅のおそれのある野生生物』, 徳島県県民環境部環境局循環型社会推進課自然共生室.
- 4 徳島県(1978):『第2回 自然環境保全基礎調査特定植物群落調査報告書』.
- 5 徳島地方気象台・日本気象協会(1991):『徳島百年の気象』, 徳島出版.
- 6 Braun-Blanquet, J. (1964): Pflanzensozioologie. Wien.
- 7 宮脇昭(1982):『日本植生誌 四国』, 至文堂.

表3 ツルヨシ群落組成表

通し番号	1	2	3	4	5
調査年	03	03	03	03	03
調査月	7	7	7	7	7
調査日	30	30	30	30	30
調査地番号	39	40	41	42	43
海拔 (m)	135	135	135	135	135
地形	谷	谷	谷	谷	谷
調査面積 (㎡)	9	9	9	9	9
草本層 (cm)	200	200	200	200	200
植被率 (%)	95	100	100	90	100
出現種数	18	3	10	9	9
識別種					
ツルヨシ	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5
スギナ	+	+	+	1・1	+
アレチギシギシ	1・1	+	1・1	・	・
ツユクサ	+	・	+	+	・
カナムグラ	・	・	・	1・1	+
ミゾソバ	+	・	+	・	・
その他の種					
ヨモギ	+	・	+	1・1	1・1
トウバナ	・	・	+	+	+
カラムシ	+	・	・	1・1	1・1
ツボスミレ	+	・	+	・	・
出現1回の種 (特記のないものは+)					
1. コボタンツル、アカメガシワ、キツネノマゴ、トコロ、ヤマカモジグサ、イタドリ1・1、アオミズ、ノブドウ、アキノキリンソウ、ミツバ1・1					
3. シコクアザミ、ヘビイチゴ					
4. カタバミ、ヒメムカシヨモギ					
5. ノガリヤス、ヤマノイモ、ヤブガラミ					

表4 キシツツジ群落組成表

通し番号	6	7	8
調査年	03	03	03
調査月	7	7	7
調査日	30	30	30
調査地番号	36	37	38
海拔 (m)	135	135	135
方位	NE	NE	NE
傾斜角度 (度)	40	40	40
地形	谷	谷	谷
調査面積 (㎡)	4	4	4
草本層 (cm)	100	100	100
植被率 (%)	90	90	90
出現種数	10	7	9
識別種			
キシツツジ	5・5	5・5	4・4
ウスノキ	1・1	・	2・2
ヒメヒオウギスイセン	1・1	・	1・1
ヒメワラビ	+	+	・
その他の種			
ススキ	1・1	1・1	・
ヒサカキ	・	1・1	2・2
出現1回の種 (特記のないものは+)			
1. ネコヤナギ2・2、ネムノキ1・1、カエデコロロ、ヨモギ、コアカツ			
2. イタドリ2・2、ヤマフジ1・1、ナルコユリ			
3. ベニシダ1・1、メダケ、ヤブツバキ、トウゲシバ、ネズミモチ			

表5 ブナ群落組成表

通し番号	1	2	3
調査年	03	03	03
調査月	7	7	7
調査日	27	27	27
調査地番号	17	18	19
海拔 (m)	1150	1030	1030
方位	SE	SE	SE
傾斜角度 (度)	25	25	20
地形	斜上	斜上	斜上
調査面積 (㎡)	225	300	400
高木層 (m)	20	22	23
植被率 (%)	50	75	70
胸高直径 (cm)	83	70	47
亜高木層 (m)	12	10	12
植被率 (%)	40	20	25
低木層 (m)	6	5	6
植被率 (%)	70	75	80
草本層 (cm)	100	100	50
植被率 (%)	50	40	40
出現種数	36	30	38
識別種			
ブナ	3・3	4・4	3・3
スズタケ	3・3	3・3	3・3
タムシバ	1・1	+	+
ドウダンツツジ	1・1	+	+
ナツツバキ	+	+	1・1
ツタウルシ	+	・	+
ハリギリ	+	・	+
ミヤマシキミ	1・1	+	・
コハウチワカエデ	1・1	3・3	3・3
その他の種			
イヌシデ	1・1	1・1	1・1
アオハダ	1・1	1・1	+
シロモジ	3・3	4・4	4・4
リョウブ	1・1	+	1・1
シラキ	+	2・2	2・2
ウスゲクロモジ	+	+	+
タンナサワフタギ	+	1・1	2・2
イワガラミ	+	+	+
イヌツゲ	+	+	1・1
ウリハダカエデ	1・1	・	+
コックバネウツギ	1・1	1・1	・
ヒメホウチャクソウ	・	+	+
コミネカエデ	+	+	・
クロツル	+	+	+
サルトリイバラ	+	+	・
ヤマウルシ	1・1	+	・
シシガシラ	・	+	+
アセビ	2・2	+	+
ハリガネワラビ	+	・	+
ナガバモミジイチゴ	+	・	+
マツバサ	+	・	+
シハイスミレ	・	+	+
ミツバツチグリ	・	+	+
出現1回の種 (特記のないものは+)			
1. ミズキ1・1、ネジキ1・1、オンツツジ1・1、エンコウカエデ、ソヨゴ、ヤマグワ、トチバニンジン、コゴメウツギ			
2. ツルリンドウ、ミツバツツジ、コバノガマズミ、イトスゲ			
3. ヤドリギ、イヌガヤ1・1、シコクスミレ、タチツボスミレ、チヂミザサ、テイカカズラ、オトコヨウゾメ、タガネソウ、アサノハカエデ、ウラジロノキ、キレハヒヨドリバナ、コシアブラ、エゴノキ			

表6 イヌシデ群落組成表

通し番号	1	2	3
調査年	03	03	03
調査月	7	7	7
調査日	27	27	27
調査地番号	20	21	22
海拔 (m)	950	950	950
方位	NE	NE	NE
傾斜角度 (度)	15	30	30
地形	斜上	斜上	斜上
調査面積 (㎡)	225	225	225
高木層 (m)	17	17	18
植被率 (%)	80	80	80
胸高直径 (cm)	19	22	25
亜高木層 (m)	10	12	12
植被率 (%)	25	60	30
低木層 (m)	5	6	6
植被率 (%)	40	50	40
草本層 (cm)	80	80	80
植被率 (%)	10	30	10
出現種数	20	42	38

(次のページに続く)

(前のページから続く)

識別種			
シコクトリアシショウマ	+	+	+
ヤマハノキ	2:2	2:2	・
クマシデ	・	2:2	2:2
イヌシデ	4:4	3:3	3:3
ヒメホウチャクソウ	+	1:1	+
その他の種			
シロモジ	3:3	3:3	3:3
サルトリイバラ	+	+	+
ガマズミ	+	+	+
ウスゲクロモジ	1:1	+	+
ゼンマイ	+	+	+
タンナサワフタギ	+	+	+
カナクギノキ	1:1	+	1:1
クリ	2:2	2:2	1:1
エンコウカエデ	・	+	1:1
アオハダ	・	+	+
シシガシラ	・	+	+
コハウチワカエデ	・	1:1	+
カマツカ	・	+	+
コナラ	・	1:1	2:2
コガクウツギ	・	2:2	1:1
ダンコウバイ	・	+	+
シラキ	・	1:1	1:1
ウリハダカエデ	+	・	+
ツルリンドウ	・	+	+
イヌツゲ	+	・	+

- 出現1回の種 (特記のないものは+)
1. コツクバネウツギ、コミネカエデ、ミツバアケビ、ミツバウツギ、ナルコユリ、ツクバネソウ
 2. ホウノキ1・1、ヤマザクラ1・1、ヤマウルシ、リョウブ2・2、オンツツジ、イタヤカエデ1・1、イワガラミ、フタバサイシン、ケヤキ1・1、シハイスミレ、マユミ、ムラサキシキブ、ヤマグワ、フタリシズカ、コゴメウツギ、ナガバタチツボスミレ、イロハモミジ、ヘクソカズラ、ヤブムラサキ
 3. コシアブラ1・1、イヌザクラ1・1、エゴノキ1・1、ウラジロノキ、ソヨゴ、アセビ1・1、コバノガマズミ、ウグイスカグラ、カマツカ、アキノタムラソウ、ノリウツギ、ウスバサイシン、ハリガネワラビ、ウツギ

表7 ケヤキ群落組成表

通し番号	1	2
調査年	03	03
調査月	7	7
調査日	27	27
調査地番号	23	24
海拔 (m)	720	710
方位	NE	NE
傾斜角度 (度)	35	35
地形	斜下	斜下
調査面積 (㎡)	400	400
高木層 (m)	25	25
植被率 (%)	80	70
胸高直径 (cm)	40	45
亜高木層 (m)	15	15
植被率 (%)	20	50
低木層 (m)	8	6
植被率 (%)	90	60
草本層 (cm)	100	80
植被率 (%)	60	50
出現種数	33	31

識別種		
ケヤキ	5:5	4:4
ヤマアジサイ	+	1:1
ミツバウツギ	1:1	+
イロハモミジ	2:2	+
その他の種		
イヌガヤ	1:1	1:1
ミズキ	1:1	1:1
ケクロモジ	1:1	1:1
アワブキ	1:1	1:1
ガクウツギ	3:3	3:3
シロモジ	3:3	1:1
ウリノキ	3:3	2:2
チヂミザサ	+	+
ナガバモミジイチゴ	+	+
シコクアザミ	+	+
ウツギ	1:1	+
コハウチワカエデ	1:1	+
ジュウモンジシダ	1:1	+

- 出現1回の種 (特記のないものは+)
1. シラキ、ニワトコ、カマツカ、ハナイカダ、マツバサ、マルバウツギ、シロバナエンレイソウ、アオテンナンショウ、トチバナニンジン、カモメヅル、ノブドウ、イワガネソウ、キブシ、ヤエムグラ、キヨタキシダ、ゲジゲジシダ
 2. オニグルミ1・1、ゴトウヅル、カツラ1・1、フサザクラ1・1、コウゾ、ヤブツバキ、コアカソ1・1、クマワラビ、マユミ、オオバシヨウマ、モミジガサ、ツヤナシイノデ、ヤマブキ、ガマズミ

表8 コジイ群落組成表

通し番号	1	2	3	4	5
調査年	03	03	03	03	03
調査月	7	7	7	7	7
調査日	24	24	26	26	26
調査地番号	5	6	7	8	9
海拔 (m)	210	220	170	190	200
方位	NW	NW	SE	E	SW
傾斜角度 (度)	25	20	30	15	30
調査面積 (㎡)	400	200	200	200	200
高木層 (m)	18	18	18	18	22
植被率 (%)	90	95	80	90	80
胸高直径 (cm)	48	56	45	40	50
亜高木層 (m)	12	12	8	8	12
植被率 (%)	70	60	40	30	30
低木層 (m)	8	7	3	4	5
植被率 (%)	80	40	40	40	70
草本層 (cm)	100	100	100	50	80
植被率 (%)	30	15	30	15	10
出現種数	43	36	34	24	36

識別種					
コジイ	5:5	5:5	5:5	5:5	5:5
サカキ	3:3	3:3	2:2	3:3	3:3
センリョウ	2:2	1:1	+	+	1:1
カナメモチ	2:2	+	+	1:1	2:2
タカノツメ	1:1	1:1	+	1:1	・
マンリョウ	+	+	+	+	・
シキミ	2:2	+	+	+	・
ヒトツバ	・	・	1:1	+	+
リンボク	+	+	・	・	1:1
ジュズネノキ	+	+	・	・	+
モチノキ	2:1	1:1	・	・	・
クロバイ	1:1	1:1	・	・	・
その他の種					
ヒサカキ	2:2	1:1	+	+	+
ヤマウルシ	+	+	+	+	+
アオハダ	2:1	+	1:1	1:1	1:1
ソヨゴ	1:1	+	+	1:1	1:1
ヒノキ	1:1	2:2	1:1	1:1	・
サルトリイバラ	+	・	+	+	+
ヤブツバキ	3:3	3:3	1:1	・	1:1
テイカカズラ	+	+	+	+	+
ベニシダ	+	+	+	+	+
アラカシ	+	・	1:1	+	1:1
オンツツジ	+	2:2	+	・	・
アセビ	+	2:2	+	・	・
ウラジロ	・	+	+	+	・
アオキ	1:1	1:1	・	・	+
ネジキ	+	1:1	1:1	・	・
モチツツジ	+	・	+	+	・
リョウブ	・	1:1	+	1:1	・
ヤブニッケイ	1:1	+	・	・	+
ササクサ	・	+	1:1	+	・
チヂミザサ	+	・	・	・	+
ヤブコウジ	・	・	+	+	+
イヌツゲ	・	・	+	+	+
ジャノヒゲ	+	・	・	・	+
チャノキ	+	+	・	・	・
ヤブラン	+	・	・	・	+
ツクバネガシ	2:2	2:2	・	・	・
コバノガマズミ	+	+	・	・	・
イヌビワ	・	・	+	・	1:1
コシダ	・	・	2:2	+	・
マメツタ	・	+	・	・	+
エゴノキ	・	・	+	+	・
ナンテン	+	・	・	・	+
コシアブラ	・	・	+	+	・

- 出現1回の種 (特記のないものは+)
1. スギ1・1、ナツツタ、ヤツデ、ウラジロノキ1・1、ヤマノイモ、ゼンマイ、ミヤマウズラ、ヘクソカズラ、ミツバアケビ
 2. クチナシ、マンリョウ、サネカズラ、キジノオシダ、シシガシラ、カクミスノキ
 3. フユイチゴ、ノキシノブ、シラカシ、ヤブムラサキ
 4. ナツハゼ
 5. イチイガシ1・1、ムクノキ1・1、タラヨウ、ネズミモチ、イタビカズラ、フユツタ、シュロ、コ克蘭、イズセンリョウ、ナワシログミ

表9 アラカシ群落組成表

通し番号	1	2	3	4	5
調査年	03	03	03	03	03
調査月	7	7	7	7	7
調査日	24	26	26	26	26
調査地番号	12	13	14	15	16
海拔 (m)	520	540	540	250	240
方位	NE	SE	SE	SW	SW
傾斜角度 (度)	50	50	40	60	60
地形	尾根	斜下	尾根	斜中	斜中
調査面積 (㎡)	225	225	400	225	225
高木層 (m)	15	18	20	15	13
植被率 (%)	90	90	90	90	95
胸高直径 (cm)	20	27	45	30	15
亜高木層 (m)	8	8	12	8	7
植被率 (%)	50	40	30	25	25
低木層 (m)	4	4	5	4	3
植被率 (%)	30	30	50	30	20
草本層 (cm)	50	50	50	50	50
植被率 (%)	5	10	5	15	5
出現種数	19	18	22	25	14
識別種					
シラカシ	1・1	1・1	1・1	・	・
カヤ	+	1・1	+	+	・
チャノキ	+	+	+	・	・
その他の種					
ヒサカキ	1・1	2・2	2・2	2・2	+
アラカシ	4・4	5・5	5・5	5・5	5・5
ヤブツバキ	2・2	2・2	3・3	1・1	2・2
ヤブムラサキ	+	+	+	・	・
ジャノヒゲ	+	・	・	+	+
マメツタ	+	・	・	1・1	+
ウツギ	・	+	+	+	・
ヤブニッケイ	+	+	+	・	・
シキミ	+	1・1	1・1	・	・
カナメモチ	・	・	・	+	1・1
シュロ	+	・	+	・	・
オニカナワラビ	・	・	・	+	+
ヤブコウジ	・	+	・	+	・
モチツツジ	・	・	+	+	・
コナラ	・	1・1	・	1・1	・
ベニシダ	・	・	・	+	+
イヌビワ	・	・	+	+	・
ネムノキ	・	1・1	・	1・1	・
ナンテン	・	・	・	+	+
ナワシログミ	・	+	・	・	+
イヌガヤ	+	+	・	・	・
出現1回の種 (特記のないものは+)					
1. アカシデ1・1、ケヤキ2・2、カゴノキ1・1、ムクノキ、ヤマコウバシ、サルトリイバラ					
2. ヤマザクラ1・1、ネズミモチ1・1、ムラサキシキブ					
3. リョウブ1・1、スギ、ヤマモミジ、オンツツジ、コウヤボウキ、コックバネウツギ、イチヤクソウ、ダンコウバイ、ノブドウ					
4. イタヤカエデ1・1、ニワトコ、フジ、トラノオシダ、シュンラン、ヤブラン、クマワラビ、ヤブソテツ、コガクウツギ					
5. コジイ1・1、コバノトネリコ、ノキシノブ、ヤマウルシ					

表10 コナラ群落組成表

通し番号	1	2	3
調査年	03	03	03
調査月	7	7	7
調査日	24	26	26
調査地番号	1	10	11
海拔 (m)	340	310	300
方位	SW	NW	SW
傾斜角度 (度)	35	40	40
地形	斜中	斜中	斜中
調査面積 (㎡)	225	225	200
高木層 (m)	12	20	18
植被率 (%)	90	50	50
胸高直径 (cm)	18	23	25
亜高木層 (m)	7	12	12
植被率 (%)	40	90	80
低木層 (m)	4	5	5
植被率 (%)	60	30	40
草本層 (cm)	100	50	50
植被率 (%)	30	5	5
出現種数	57	39	27
識別種			
ナキリスゲ	+	・	・
アオツラフジ	・	・	+
シロヨメナ	+	・	・
ナガバジャノヒゲ	+	・	・
その他の種			
ヒサカキ	3・3	1・1	+
アラカシ	+	4・4	4・4
ヤブコウジ	1・1	+	+
シュンラン	+	+	・
カマツカ	2・2	・	・
ノブドウ	+	+	+
リョウブ	+	1・1	・
ジャノヒゲ	+	+	+
ヤブムラサキ	3・3	+	+
コナラ	4・4	3・3	3・3
ヤマガキ	1・1	+	1・1
ケヤキ	1・1	・	1・1
サルトリイバラ	+	+	・
ヤマウルシ	1・1	1・1	・
ヤブツバキ	・	1・1	3・3
アオハダ	1・1	1・1	・
オンツツジ	+	+	・
テイカカズラ	+	・	+
モチツツジ	2・2	+	・
ヤブラン	+	・	+
アセビ	1・1	+	・
イヌビワ	・	+	+
ヤマノイモ	+	・	+
ナワシログミ	+	・	+
ヤマザクラ	・	・	1・1
ノイバラ	+	・	・
出現1回の種 (特記のないものは+)			
1. ネムノキ1・1、エゴノキ1・1、アカメガシワ1・1、ミツバアケビ、イヌツグ1・1、ガマズミ2・1、ヤブイバラ、イボタノキ、ネズミモチ、チヂミザサ1・1、ヤマジノホトトギス、シシガシラ、コウヤボウキ1・1、ヤマハッカ、クサギ、ナツツタ、ケスゲ、ノササゲ、オカトラノオ、ナガバモミジイチゴ、サジガンクビソウ、コナスビ、シラヤマギク、マユミ、アキノタムラソウ、ナガバタチツボスミレ、クサイチゴ、ヤブヘビイチゴ、シコクアザミ、タチシノブ、ハリガネワラビ			
2. フジ、ヤマザクラ1・1、ウラジロノキ、ネジキ1・1、ソヨゴ、ダンコウバイ、ウツギ、ベニシダ、アカシデ1・1、ウラジロ、コガクウツギ、マメツタ			
3. クズ、ヤマモミジ、イタヤカエデ1・1、クマノミズキ1・1、カヤ1・1、クマワラビ、シュロ、ナンテン、オニカナワラビ			

表11 クヌギ群落組成表

通し番号	1	2	3
調査年	03	03	03
月	7	7	7
日	30	30	30
調査地番号	33	34	35
海抜 (m)	140	140	150
方位	N	N	N
傾斜角度 (度)	10	10	20
地形	斜下	斜下	斜下
調査面積 (㎡)	225	225	225
高木層 (m)	12	15	13
植被率 (%)	80	80	70
胸高直径 (cm)	21	21	28
亜高木層 (m)	8		8
植被率 (%)	2		3
低木層 (m)	4	6	6
植被率 (%)	60	70	80
草本層 (cm)	80	80	80
植被率 (%)	85	80	70
出現種数	71	65	58

識別種			
クヌギ	4・4	4・4	3・3
ナラガシワ	+	1・1	+
カニクサ	+	+	+
スイカズラ	・	+	+
シラヤマギク	1・1	2・2	1・1
カンザシギボウシ	1・1	+	・
ノグルミ	+	1・1	+
ナツフジ	・	+	1・1
その他の種			
メダケ	3・3	3・3	4・4
アブラチャン	1・1	+	+
ヤブコウジ	1・1	2・2	1・1
ヤマカモジグサ	+	1・1	+
ヒサカキ	+	1・1	+
サルトリイバラ	2・2	1・1	1・1
ヤマウルシ	2・2	2・2	3・3
アラカシ	+	1・1	+
チジミザサ	3・3	3・3	3・3
テイカカズラ	2・2	+	+
イヌツゲ	3・3	3・3	1・1
モチツツジ	2・2	2・2	+
シシガシラ	1・1	2・2	1・1
ヤブラン	+	+	+
カマツカ	1・1	1・1	+
コナラ	3・3	3・3	1・1
ワラビ	1・1	1・1	1・1
ススキ	1・1	1・1	1・1
コバノガマズミ	1・1	2・2	1・1
コウヤボウキ	2・2	1・1	2・2
ミツバアケビ	1・1	2・2	+
ヤマガキ	1・1	2・2	1・1
ヤマノイモ	+	1・1	1・1
アキノタムラソウ	+	+	+
ササクサ	3・3	2・2	2・2
イボタノキ	+	1・1	+
ナツツタ	+	1・1	2・2
スルデ	+	1・1	+
ケスゲ	+	+	+
アカメガシワ	+	+	2・2
ネムノキ	+	+	+
ノイバラ	2・2	2・2	1・1
スギ	・	+	1・1
イチヤクソウ	+	+	・
タラノキ	+	+	・
コマユミ	+	+	・
サワヒヨドリ	+	+	・
ヤブツバキ	1・1	・	+
オンツツジ	+	+	・
ノブドウ	+	+	+
クサイチゴ	・	1・1	+
ヘクソカズラ	+	1・1	・
フユイチゴ	2・2	・	2・2
ガマズミ	+	+	・
ゼンマイ	2・2	1・1	・
ネズミモチ	+	・	+
トコロ	+	・	+
マツサ	・	+	・
ヤブイバラ	+	+	・
ハリガネウラボ	+	1・1	・
ヤマザクラ	・	+	+
エゴノキ	+	・	+
ケヤキ	+	・	+

出現1回の種 (特記のないものは+)

- ジャノヒゲ、ウド、フジ、マツサ、ミヨウガ
- 2・2、スイカズラ、シライトソウ、クリ、マユミ、ムラサキシキブ、ノカンゾウ1・1、イロハモミジ、ナワシログミ、ナルコユリ、ウグイスカグラ、シャシャンボ
- ハネミイソエンジュ、ハナイカダ、アオハダ、ヤマフジ、カエデコロ、ヤブヘビイチゴ、オトコエシ、ナガバタチツボスミレ、マルバアオダモ、ムラサキニガナ、シハイスミレ
- ヤマハギ、ヤブムラサキ1・1、ソヨゴ、コガクウツギ、ネジキ、ホドイモ、サネカズラ、ナガバモミジイチゴ、ヤブマメ

表12 アカマツ群落組成表

通し番号	1	2	3
調査年	03	03	03
月	7	7	7
日	24	24	24
調査地番号	2	3	4
海抜 (m)	400	400	405
方位	SW	SW	SW
傾斜角度 (度)	30	25	30
地形	斜上	尾根	尾根
調査面積 (㎡)	225	225	225
高木層 (m)	11	11	14
植被率 (%)	70	60	60
胸高直径 (cm)	24	21	25
亜高木層 (m)	7	7	7
植被率 (%)	20	20	15
低木層 (m)	5	5	5
植被率 (%)	80	70	70
草本層 (cm)	80	80	80
植被率 (%)	20	40	40
出現種数	26	23	27

識別種			
アカマツ	4・4	4・4	4・4
ネズミモチ	・	・	・
コシダ	1・1	1・1	2・2
ナツハゼ	3・3	1・1	2・2
その他の種			
ヒサカキ	4・4	3・3	3・3
サルトリイバラ	+	1・1	1・1
ヤマウルシ	1・1	2・2	+
アオハダ	1・1	+	+
オンツツジ	+	1・1	1・1
ソヨゴ	+	2・2	2・2
イヌツゲ	1・1	1・1	1・1
モチツツジ	+	+	2・2
ワラビ	+	+	+
ススキ	+	+	+
ネジキ	2・2	2・2	1・1
ネズ	2・2	1・1	1・1
アラカシ	+	・	+
ヤブコウジ	・	+	1・1
テイカカズラ	+	・	+
アセビ	+	・	+
カマツカ	+	+	・
ヤマガキ	+	・	+
ウラジロ	・	+	1・2
ヤマザクラ	・	1・1	1・1
コ克蘭	+	+	+
リョウブ	+	+	・

出現1回の種 (特記のないものは+)

- イヌザンショ、ノブドウ、コックパネツツギ、アカメガシワ、マルバハギ
- ウラジロノキ、トチバナジン
- コウヤボウキ、クリ、シュンラン、ミヤマウスラ

表13 伐採跡群落組成表

通し番号	1	2	3	4	5
調査年	03	03	03	03	03
月	7	7	7	7	7
日	30	30	30	30	30
調査地番号	44	45	46	47	48
海抜 (m)	270	270	270	270	270
方位	SE	SE	SE	SE	SE
傾斜角度 (度)	25	25	25	25	25
地形	斜上	斜上	斜上	斜上	斜上
調査面積 (㎡)	9	9	9	9	9
草本層 (cm)	80	90	100	100	100
植被率 (%)	90	100	100	80	100
出現種数	4	6	9	13	8

識別種					
クス	・	+	2・2	1・1	3・3
ウシハコベ	1・1	2・2	・	3・3	・
ヒメクグ	・	2・2	・	1・1	・
オオアレチノギク	・	・	・	2・2	・
カラムシ	4・4	4・4	4・4	2・2	3・3
その他の種					
クサイチゴ	1・1	・	+	・	+
ワラビ	3・3	・	1・1	・	4・4
ヨモギ	・	・	1・1	2・2	1・1
イタドリ	・	・	+	+	2・2
ヘクソカズラ	・	・	1・1	・	1・1

出現1回の種 (特記のないものは+)

- エノコログサ2・2、アオビユ2・2
- ススキ2・2、ヤマノイモ
- キツネノマゴ1・1、ベニバナボロギク1・1、ギシギシ2・2、シロザ2・2、オオヤブジラミ、ヤブマメ、ヒメムカシヨモギ
- トウバナ

表14 竹林組成表

通し番号	1	2	3
調査年	03	03	03
調査月	7	7	7
調査日	29	29	29
調査地番号	30	31	32
海拔 (m)	250	260	260
方位	SW	SW	SW
傾斜角度 (度)	50	50	50
地形	斜下	斜下	斜下
調査面積 (㎡)	225	225	225
高木層 (m)	15	15	15
植被率 (%)	100	95	95
胸高直径 (cm)	15	15	15
低木層 (m)	2	3	6
植被率 (%)	5	10	15
草本層 (cm)	80	80	80
植被率 (%)	10	10	10
出現種数	32	26	25
識別種			
モウソウチク	5・5	5・5	5・5
ヤマイタチシダ	+	+	+
キツタ	+	+	+
ハカタシダ	・	+	+
フモトシダ	・	+	+
ミツバテンナンショウ	+	・	+
イタビカズラ	+	・	+
シュロ	+	・	+
その他の種			
チャノキ	+	+	+
ヤブツバキ	+	1・1	1・1
ジャノヒゲ	+	+	+
ヤブラン	+	1・1	1・1
イヌビワ	1・1	+	+
ナンテン	1・1	+	+
アオキ	+	+	1・1
ムクノキ	+	+	+
ヒサカキ	1・1	+	・
アラカシ	1・1	+	・
ヤブコウジ	+	・	・
マルバウツギ	+	+	・
テイカカズラ	+	+	・
ベニシダ	+	・	+
マメツタ	+	・	+
ノブドウ	+	+	・
チジミザサ	+	・	1・1
アオツツラフジ	+	・	+
フユイチゴ	+	・	+
ヤブソテツ	・	+	+
トコロ	・	+	+
出現1回の種 (特記のないものは+)			
1. リョウブ、ナキリスゲ、ケヤキ、ヘクソカズラ、アキノタムラソウ、ナガバタチツボスミレ、シロダモ			
2. マンリョウ、コナラ、タチツボスミレ、カゴノキ、ウラジロノキ、トチバニンジン			
3. サネカズラ、イヌガヤ			

表15 スギ・ヒノキ植林組成表

通し番号	1	2	3	4	5
調査年	03	03	03	03	03
調査月	7	7	7	7	7
調査日	29	29	29	29	29
調査地番号	25	26	27	28	29
海拔 (m)	680	680	670	740	740
方位	N	N	NW	NE	NE
傾斜角度 (度)	35	40	40	20	20
地形	斜中	斜中	斜中	斜中	斜中
調査面積 (㎡)	400	400	400	255	225
高木層 (m)	18	18	20	15	15
植被率 (%)	80	80	80	75	65
胸高直径 (cm)	41	41	66	24	23
亜高木層 (m)		10			
植被率 (%)		20			
低木層 (m)	5	4	4	2	2
植被率 (%)	50	50	70	20	5
草本層 (cm)	80	80	80	80	80
植被率 (%)	15	15	70	70	75
出現種数	34	34	43	69	39

(右へ続く)

(左から続く)

識別種					
スギ	5・4	5・4	5・4	・	・
イラクサ	1・1	2・2	1・1	・	・
コバンノキ	+	1・1	1・1	・	・
オオカモメヅル	+	・	+	+	・
サルナシ	+	+	+	+	・
フタリシズカ	+	・	+	・	・
その他の種					
チジミザサ	+	+	+	1・1	3・3
サルトリイバラ	+	+	+	+	+
クサイチゴ	+	+	+	1・1	1・1
コアカソ	+	+	2・2	・	・
ウリノキ	3・3	2・2	2・2	・	・
ケクロモジ	+	1・1	1・1	・	・
ジュウモンジシダ	2・1	1・1	1・1	・	・
ハナイカダ	+	3・3	3・2	・	・
ホドイモ	+	・	1・1	+	・
ヤマウルシ	・	1・1	+	1・1	・
ノブドウ	+	・	・	1・1	1・1
ヤブムラサキ	・	・	2・2	1・1	1・1
フユイチゴ	・	+	+	+	・
ヤブソテツ	+	+	+	・	・
カナクギノキ	・	・	+	+	+
ケヤキ	+	+	+	+	+
クサギ	+	・	・	+	+
ノリウツギ	1・1	・	2・2	1・1	・
キヨタキシダ	+	+	1・1	・	・
シロヨメナ	・	・	+	+	1・1
ナガバジュノヒゲ	・	+	+	+	・
ミズキ	・	2・1	+	・	・
コウゾ	・	1・1	+	+	・
ゴトウツル	・	・	・	・	・
ヤマブキ	+	+	・	・	・
エンコウカエデ	・	・	・	+	+
クマノミズキ	・	・	・	+	+
タラノキ	・	・	・	+	1・1
オトコエシ	・	・	・	+	+
マルバアオダモ	・	・	・	+	+
ヒノキ	・	・	・	4・3	4・4
サカゲイノデ	+	1・1	・	・	・
アカネ	・	+	+	・	・
ドクダミ	・	+	2・2	・	・
ミズヒキ	・	+	+	・	・
オニグルミ	・	・	・	+	+
カラスザンショ	・	・	・	+	+
クロイチゴ	・	・	・	+	1・1
タケニグサ	・	・	・	+	+
ヤブコウジ	・	・	・	+	+
ソヨゴ	・	・	・	+	+
シシガシラ	・	・	・	+	+
エゴノキ	・	・	・	+	+
コバノガマズミ	・	・	・	1・1	+
ヘクソカズラ	・	・	・	+	+
ナガバモミジイチゴ	・	・	+	+	・
コウヤボウキ	・	・	・	3・3	1・1
ネムノキ	・	・	・	+	+
アカメガシワ	・	・	・	+	+
ミツバアケビ	・	・	・	+	+
ウスゲクロモジ	・	・	・	1・1	1・1
シロモジ	・	・	・	3・3	1・1
コツクバネウツギ	・	・	・	+	1・1
コガクウツギ	・	・	・	2・2	2・2
ゴトウツル	・	・	+	1・1	・
ダンコウバイ	・	・	・	+	+
ムラサキシキブ	+	・	+	・	・
スルデ	・	・	・	+	1・1
ガクウツギ	・	+	+	・	・
ウラジロノキ	・	+	・	+	・

出現1回の種 (特記のないものは+)

- オオツツラフジ1・1、アブラチャン、フサザクラ1・1、エゾエノキ1・1、ツリバナ、イヌガヤ、ミツバテンナンショウ、バイカウツギ、コナラ、ヤブマオ、ヌスビトハギ
- シラカシ2・1、アワブキ、シラスゲ、ムクノキ、ヤマミズ、ナツツタ、カナワラビ
- シロダモ、イノコヅチ1・1、カキドウシ、アマチャヅル、ゼンマイ、イワガネソウ、ツルニガクサ、ミズタマソウ、ボロギク、フジ、ユキモチソウ、ゲジゲジシダ、ケマンsp
- アオハダ、アカシデ、ナツハゼ、コシアブラ、リョウブ、カラムシ、イヌツゲ1・1、サンショウ、オオアレチノギク、コマユミ、アオツツラフジ、ナワシログミ、ウラビ、イボタノキ、ウマノスズクサ、クマイチゴ、カマツカ、ナキリスゲ、サワヒヨドリ、クズ、トコロ、オンツツジ、ツクバネガシ、ヤマフジ、イタドリ
- タンナサワフタギ、ウグイスカグラ、ツルリンドウ、カエデトコロ、ノササゲ、ヤブイバラ、モミジバラスウリ、タチツボスミレ、ヒサカキ、ヤマツツジ、キブツ、ナガバタチツボスミレ、トチバニンジン、オトギリソウ、コボタンヅル